

作業療法学科

部門	専 門 教 育 科 目					
必要単位	必要単位 (110 単位)					
	必修科目 必要単位：107 単位			選択科目 必要単位：3 単位以上		
学年	科目名		科目名		科目名	
	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数
1	人体の構造 I	2	人体の構造 III	2	生物統計学	2
	人体の構造 II	2	人体の構造 IV	2	英語 A 1	1
	人体の機能 I	2	人体の構造演習	1	英語 A 2	1
	社会福祉学概論	2	人体の機能 II	2	※外国人留学生 日本語 A 1 日本語 A 2	
	リハビリテーション概論	2	運動学	2		
	作業療法学概論	1	作業療法基礎理論	2		
			基礎作業学演習	1		
			作業評価学演習	1		
			見学実習	1		
	2	人体の機能演習	1	薬理学	2	小児科学
運動学演習		1	救急処置法	2	公衆衛生学	2
病理学		2	内科学	2	作業療法教育学	2
神経内科学		2	精神機能評価学演習	1		
整形外科学		2	発達機能評価学演習	1		
精神医学		2	日常生活活動学	2		
科学的根拠に基づく実践		2	身体機能作業療法学 II	2		
検査測定法演習		1	精神機能作業療法学	2		
身体機能評価学演習		1	老年期作業療法学	2		
精神機能評価学		2	地域作業療法学演習	1		
身体機能作業療法学 I		2	地域包括ケアシステム実習	2		
義肢装具学演習		1				
地域作業療法学		2				
3	チーム医療演習	1	臨床心理学	2	作業療法教育学と生涯学習	2
	日常生活活動学演習	1	高次脳機能作業療法学演習	1	精神機能作業療法学演習	1
	身体機能作業療法学 III	1	評価学実習	4	住環境整備・福祉用具学演習	1
	身体機能作業療法学演習	1	臨床実習 I	8	リスク管理論	1
	老年期作業療法学演習	1				
	発達と作業療法学演習	1				
	臨床推論演習	1				
	就労支援と作業療法演習	1				
	卒業研究 I	2				
臨床能力演習	2					
4	臨床教育と管理	2	作業療法セミナー II	1		
	作業療法セミナー I	1				
	地域保健マネジメント論	1				
	臨床実習 II	8				
卒業研究 II	2					
開設 単位数			107			13

- ：専門教育科目の必修科目
- ：全学共通教育科目の必修科目
- ：選択科目

全 学 共 通 教 育 科 目					
必要単位 (14 単位)					
必修科目 (8 単位)				選択科目 (6 単位以上)	
初年次教育科目 必要単位：2 単位		リテラシー教育科目 必要単位：1 単位		健康・スポーツ教育科目 必要単位：3 単位	
科目名		科目名		科目名	
単位数		単位数		単位数	
フレッシュャーズセミナー	2	日本語リテラシー	1	健康の科学	2
				健康・スポーツ 1	1
				健康・スポーツ 2	1
				哲学の世界	2
				ことばの科学	2
				心理学概論	2
				倫理学の世界	2
				文学の世界	2
				一般教養科目 (社会科学分野：2 単位)	
				科目名	単位数
				法学入門	2
				社会学入門	2
				災害からの復興	2
				暮らしのなかの憲法	2
				政治学入門	2
				一般教養科目 (自然科学分野：2 単位)	
				科目名	単位数
				自然科学のあゆみ	2
				健康と薬	2
				統計のしくみ	2
				生命の科学	2
				食品の科学	2
				外国語教育科目	
				科目名	単位数
				英語 B 1 (1 年次)	1
				英語 B 2 (1 年次)	1
				英語 C 1 (2 年次)	1
				英語 C 2 (2 年次)	1
				韓国語 1 (2 年次)	1
				韓国語 2 (2 年次)	1
				リテラシー教育科目	
				科目名	単位数
				コンピュータリテラシー (1 年次)	1
	2		1		4
					37

- ：全学共通教育科目の選択必修科目であり、健康・スポーツ教育科目の「健康・スポーツ 1」または「健康・スポーツ 2」からどちらか 1 科目を修得すること
- ：全学年で履修できる一般教養科目の選択必修科目であり、人文科学分野、社会科学分野、自然科学分野からそれぞれ 2 単位、計 6 単位以上を修得すること

健康医療科学部 作業療法学科 カリキュラム・マップ

地元いわき市をはじめ、地域社会に貢献できる作業療法士

ディプロマポリシー

DP1. 広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。	DP2. 地域に住む孤立しがちな人びとや、心身および生活上の障害を抱えた人びとの個別な健康・医療課題を的確に把握し、子どもから高齢者に至るまでその人らしく生活できるように、その生活支援や就労支援を行うことで、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。	DP3. 健康・医療に関わる課題を解決するために、作業療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた作業療法技術を駆使して生活能力の再獲得への支援ができる。	DP4. 健康・医療に関わる作業療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的かつ能動的な学修ができる。
---	---	---	---

4年	後期			作業療法セミナーⅡ	卒業研究Ⅱ			
	前期			臨床教育と管理 作業療法セミナーⅠ 地域保健マネジメント論	卒業研究Ⅱ 臨床実習Ⅱ			
3年	後期	臨床心理学		リスク管理論 高次脳機能作業療法学演習	卒業研究Ⅰ 評価学実習 臨床実習Ⅰ 臨床能力演習			
	前期			日常生活活動学演習、身体機能作業療法学Ⅲ、身体機能作業療法学演習 精神機能作業療法学演習、老年期作業療法学演習、発達と作業療法学演習 臨床推論演習、住環境整備・福祉用具学演習、就労支援と作業療法演習 チーム医療演習	卒業研究Ⅰ 臨床能力演習 作業療法教育学と生涯学習			
2年	後期	薬理学 救急処置法 小児科学 内科学 公衆衛生学	精神機能評価学演習 発達機能評価学演習	日常生活活動学 身体機能作業療法学Ⅱ 精神機能作業療法学 老年期作業療法学 地域作業療法学演習	地域包括ケアシステム実習 作業療法教育学			
	前期	病理学 神経内科学 整形外科学 精神医学	人体の機能演習 運動学演習 検査測定法演習 身体機能評価学演習	身体機能作業療法学Ⅰ 義肢装具学演習 地域作業療法学 精神機能評価学	科学的根拠に基づく実践			
1年	後期	人体の構造Ⅲ 人体の構造Ⅳ 人体の機能Ⅱ 運動学 英語A2	作業評価学演習 人体の構造演習 健康・スポーツ2	作業療法基礎理論 基礎作業学演習	見学実習			
	前期	人体の構造Ⅰ 人体の構造Ⅱ 人体の機能Ⅰ 生物統計学 日本語リテラシー 健康の科学 英語A1	健康・スポーツ1	リハビリテーション概論 作業療法学概論 社会福祉学概論	フレッシューズセミナー			
		知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性	態度

カリキュラム・ポリシー

CP1. 1年次、2年次に、全学共通教育科目の初年次教育科目、リテラシー教育科目、一般教養科目、外国語教育科目、健康・スポーツ教育科目を配置し、作業療法士の担い手としてふさわしい幅広い人間的な視野と豊かな教養を身につける。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー1に対応)	CP2. 専門基礎科目として、1年次、2年次を中心に『人体の構造と機能及び心身の発達』、『疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進』、『保健医療福祉とリハビリテーションの理念』を配置し、必要な基本的知識を修得する。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー3に対応)	CP3. 専門科目は、基礎作業療法学、作業療法管理学、作業療法評価学、作業療法治療学、地域作業療法学、臨床実習の6つのカテゴリーにおいて学修する。
---	--	---

アドミッション・ポリシー

AP1. 高等学校の教育課程を幅広く修得しており、心身ともに健全である人	AP2. 作業療法士の社会的使命や役割に興味関心があり、他の人々への思いやりと熱意をもって社会貢献しようとする意欲のある人	AP3. ものごとくに対して主体性を持って、積極的かつ誠実に取り組む姿勢が身につけている人	AP4. 社会の様々な問題に対して、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、考えた結果を説明することができる人	AP5. 高等学校までの履修内容のうち、「国語」と「英語」を通して、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基本的内容を身につけている人	AP6. 高等学校までの履修内容のうち、作業療法学の基礎として「数学」と「理科」の基本的内容を身につけている人	AP7. 学校や地域において、グループ学習、課外活動、ボランティア活動などの経験があり、他の人々と協力して課題をやり遂げることができる人
--------------------------------------	---	---	--	--	---	--